

## 四国高等学校ホッケー選手権大会における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針

「－ホッケー競技における対応策－」令和4年5月

### 感染拡大防止策の概要

#### 1. 全般的な事項

- ・(公財) 全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・**四国4県共通の新型コロナウイルス感染者等の対応方針に準ずる**

#### 2. 当日の参加受付時の留意事項

- ・(公財) 全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・**四国4県共通の新型コロナウイルス感染者等の対応方針に準ずる**

#### 3. 大会参加者への対応

- ・(公財) 全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・**四国4県共通の新型コロナウイルス感染者等の対応方針に準ずる**

#### 4. 実行委員会が準備等すべき事項

- ・(公財) 全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・**四国4県共通の新型コロナウイルス感染者等の対応方針に準ずる**

### ホッケー競技会場の整備

#### 【環境の整備】

- ①試合会場内の必要箇所(選手出入口・ベンチ・トイレ等)に消毒液を設置し、常時手指消毒ができる体制を整える。
- ②更衣室の利用については、集団感染のリスク(3密の条件)を避けるため、使用させない。
- ③体調不良者(新型コロナウイルス疑い)の待機場所を確保する。その際、社会的距離(最低1m)を保ち待機させる。体調不良者が出た場合は、医療機関・保健所へ受診。
- ④試合間隔を確保し、ベンチ内の消毒等を行う時間を取る。(消毒については試合当該校に協力を求める)

#### 【試合会場への出入り】

- ①試合会場入りする大会役員、競技役員、各チーム関係者、選手、補助員、メディア関係者には毎日の検温、体調チェック、マスクの着用を義務付ける。
- ②大会に参加するすべての者は、必ず、当日の朝、自宅もしくは宿舎で検温を行い、平熱であることを確認して試合会場に入ること。高熱の者や体調不良の者は参加させない。
- ③特に選手については、引率責任者が検温結果を確認し、大会本部に報告すること。
- ④チームで、手指消毒液等を携行し、常に手指消毒を行う。

### 救護について

#### 【救護体制】

- ①試合会場には看護師を常駐させる。
- ②試合会場入りした人の中に発熱や体調不良者が出た場合、速やかに救護室前で検温の上、別に設置する救護室で待機させ、医療機関での受診又は保健所の相談窓口連絡し、対応について、指示を受ける。

※救護室は、2部屋以上準備する。(コロナ用・体調不良者用)

## 5. 大会参加者の留意点

- ・(公財) 全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・**四国4県共通の新型コロナウイルス感染者等の対応方針に準ずる**

### チーム・選手・競技役員について

#### 【チーム・選手・競技役員対応】

※マスク及び消毒液等は参加校でも持参し、試合前後のベンチを消毒すること。

※競技役員についても、最大限の感染予防対策を要望する。

- ・フェイスシールド着用も含め、最低限マスクで口を塞ぐこと。
  - ・競技役員が使用する場所すべての消毒。
- ①必要最低限の人数で実施する。最大22名(選手15名、監督・コーチ・引率責任者各1名、フィジオ・ベンチアシスタント各2名)
  - ②試合会場への移動は、各学校で責任を持って集団感染のリスク(3密の条件)を避けること。
  - ③マスク着用、手洗い、うがいを励行すること。
  - ④水分・塩分・栄養の補給は各選手個別のペットボトル等を使用し、コップなど共有しないこと。
  - ⑤試合前後の挨拶、ベンチ前での円陣を組んでの声出しは状況によっては禁止する。  
クォーター間のミーティングで集まる際には、タオルで口を覆う又はマスク着用とする。
  - ⑥次の試合のチームは次試合テントで待機する。その際、十分に間隔を空け、密集しないこと。

## 6. その他の留意事項

- ・状況により、各会議・監督主将会議・開会式・閉会式の実施も検討とする

### メディアについて

#### 【メディア対応】

- ①各メディアには、1社1日あたりの取材者を限定するなどし、全体の人数をできるだけ絞り込むよう要請する。
- ②選手や監督への取材は、原則ミックスゾーンでのみ許可する。ただし、間隔を取って、実施する。その際、マスクの着用を義務付ける。
- ③取材申請手続きは事前に**事務局へ申し込む**。
- ④記者・カメラマンは必ず、当日の朝、自宅もしくは宿舎で検温を行い、平熱であることを確認して試合会場に入ること。高熱の者や体調不良の者は入場させない。
- ⑤当日は、メディア受付にて検温結果を報告すること。

### 応援・観戦について

#### 【応援・観戦】

- ①感染状況が沈静化していて、大規模イベントへの参加や観戦が認められている状況なら、応援・観戦を可とする。ただし、その場合でも、集団で固まって応援はせず、間隔を空け、大きな声を出すなどの応援は自粛する。
- ②応援・観戦者の入場の際も、マスク着用の義務付け、来場前の検温をお願いする。出入口には消毒液

等を配置し、手指消毒を励行する。

### 感染者が判明した場合について

#### 【感染者が判明した場合の大会参加の考え方】

##### 《大会前》

- ①登録選手または、チーム関係者の感染が判明した場合には、当該選手・関係者はもちろん、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
- ②出場が認められない者に関しては、大会実施要項に明記された日時までに、登録変更の手続きを済ませる。

##### 《大会期間中》

- ①大会に参加する全ての者（選手・チーム関係者・大会役員・競技役員・補助員等）は、必ず当日の朝、自宅もしくは宿舎で検温を行い、平熱であることを確認して試合会場に入ること。高熱の者や体調不良の者は参加させない。
- ②特に選手については、引率責任者が検温結果を確認し、大会本部に報告すること。
- ③大会期間中に大会会場にいた選手、チーム関係者、大会役員、競技役員、補助員の感染が判明した場合には、感染者はもちろん、濃厚接触者と特定された者のその後大会への上場は認めない。場合によっては、大会の途中中止も含め「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策会議」で検討して四国高体連で判断する。
- ④上記の場合の試合の取り扱いやその後については、実行委員会で判断する。

#### 7. チェックリスト等

- ・（公財）全国高等学校体育連盟の基本方針に準ずる
- ・健康チェックシート及び健康チェックシート提出用紙の提出